

事業所名

ひらめきラボ

## 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

21 日

法人（事業所）理念	児童が将来、穏やかな社会生活を送れるように支援を行う。		
支援方針	子ども一人ひとりの「できた！」や「わかった！」を大切に、様々な体験を積むことで自己肯定感を育み、生きることへの自信に繋げる療育を目指します。		
営業時間	授業終了後 学校休業日	9 時 30 分から 9 時 00 分まで	18 時 30 分まで 18 時 00 分まで
	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康的な生活が継続できるように、基本的な生活スキルを身に付けることを目指します。 手洗い・食事（おやつ）・排泄・着替え（整容）などの基本的な生活スキルは、日々の生活の中での積み重ねの中で身に付けられるように支援します。また、スキルの獲得に困難が見られる場合は、児童の行動を観察して行動プロセスのどの部分が苦手なのか見立てて、個々の児童に合った手立てを考えます。	
	運動・感覚	運動療法を意識した「遊び」の中で、楽しみながら心身の成長を目指します。 大きな動き（粗大運動）・細かい動き（微細運動）を組み合わせながら活動を行い、「できた！」の体験を通して、自己肯定感を育みます。また、感覚を意識した活動を行うことで、感覚がスムーズに連動（感覚統合）されるように働きかけます。運動の先にある、気持ちの安定につながる支援を目指して活動を継続します。 ひとり一人に過敏に感じる・鈍く感じる感覚があることを踏まえて、過剰な感覚は減らす・足りない感覚は増やすという環境を目指します。	
	認知・行動	自分のやりたいことが、選べる・決められることを目指します。 児童の更なる可能性を見つけるため、体験したことがないことにもチャレンジして多くの体験を積み重ねられるように支援します。そこでの経験から自分の好きなこと・得意なことを発見・再認識して自分らしさを高めていける環境を整えます。その為に、チャレンジしたいと思えるような「楽しい」が伴うチャレンジを考えていきます。	
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを相手に伝えられることを目指します。 相手に気持ちを伝えようとする意欲を高められるように、児童の発達の状況や特性に合わせて支援します。自分の気持ちを言語化することが苦手な児童には、絵カードなど様々なツールも使用して気持ちが可視化できる様に整理を行います。また、様々なチャレンジを通して語彙が増やせるような取り組みも行ないます。 これらの関わりを通して、自分の気持ちが相手に伝えられる環境を整えて円滑なコミュニケーションや人間関係・気持ちの安定に繋がります。	
	人間関係 社会性	楽しく（穏やかに）過ごせる他者との関わり方や気持ちの切り替えの上達を目指します。 まずは、楽しみを感じられる環境で利用したいと思える居場所を提供します。その「遊びの場」の中で、自分の思いを表現し合いながら、相手から譲ってもらう・相手に譲る体験を積み重ねられるように支援します。お友だちに譲るも自分の楽しみに繋がることを経験していきます。ひらめきラボでは、遊びの場面を中心にSST（ソーシャルスキルトレーニング）を実践していきます。	
家族支援	利用中発見した「できた！」ことや「わかった！」ことなど、児童の成長・強み・気づきを、家庭での関わりにも繋げていただけるように情報提供します。 家庭生活における困りごと等の相談・助言を行います。	移行支援	進学進級などの環境変化が起こる際など、関係機関へ児童の安心できる環境・楽しめる環境・チャレンジしやすい環境などの情報を提供・共有して安心して次のステップを目指す体制構築に努めます。
地域支援・地域連携	地域の公共施設や商業施設などへの外出を行い、インクルーシブな環境での活動を行うことで、障がいや特性の有無を問わず「地域で暮らすこと」が当たり前と理解される機会を設定します。	職員の質の向上	OJTを基本に日常的に質の向上に努めますが、定期的に専門性向上のためのOFF-JT研修を行います。また、職員の自己研鑽の為にSDS(自己啓発援助制度)の活用・強化にも力を入れていきます。
主な行事等	授業終了後： ラボスキル（集団でのレクや学習を毎日行います）・定期的な外出（近隣公園 等）・創作活動（毎月1作品） 学校休業日： 外出支援（動物園・商業施設 等）・創作活動（キーホルダー作り・オリジナル写真立て作り 等）・クッキング体験（サンドウィッチ・たこ焼き 等） 【活動で実費が発生する場合、別途参加費がかかります】		